

皆さんは、宇宙開発できると思いますか？たいていの人が、「宇宙開発なんてやったことがないからできない。」  
と、思ってしまわずです。でも、人は、やったことがないこととしか出会わないのです。やればできるんです。

幼児はやったことがないことをやりたがります。でもいつの間にか、まわりの大人が「やったことないことはやめておきなさい」と教えるために、できないと思いこむんです。誰かがあきらめ方を教えているんです。

あきらめ方をおぼえた人は、自信を失います。自信がないと優しい心を持つてなくなります。

いま世界は大きく変化し、新しい仕事を必要としています。それを生み出せるのは、自信に基づく優しさを持つ人たちです。優しさは人の苦しみや悲しみという、解決すべき問題点に気付く能力だからです。

この講演を最後まで聞いていただいて、人の可能性や自信の大切さを再確認していただければと思います。

いまや、昔は最先端材料と言われたものも、普通にホームセンターで入手できます。最新の携帯電話に使われている技術は、少し前の宇宙技術を超えています。

皆さんは、こんなに科学が発達した時代だから、自分にも宇宙開発はできる、と思いますか？残念ながら、多くの人が、「すごくお金がかかる」「よほど頭がよくないと無理だ」と思い込んでいます。誰かが、それを教えてくれました。誰が教えてくれたのか？それは、宇宙開発をやったことがない人達です。それ以来僕たちは、夢を見つけても、「どーせ無理だ」と、考えることもせず、追いかけることもせず、あきらめるようになったのではないのでしょうか？

頑張りたくても頑張れなかった人は、自信を失います。でも、自信がないと困るから、自信を金で買うようになり、自慢するようになり、やがては、自分のまわりの、自分より弱い人の自信を奪うようになります。これは連鎖し、いじめや暴力につながります。

自信が無い人は、新しいことに挑戦できません。同じことを繰り返すだけです。それは企業にも言えます。新しいことに挑めない企業は、同じことを繰り返すだけだから、製品が市場にあふれます。それでもなお売り続けるには、わざと壊れるようにするしかありません。その結果、生きるためにはべらぼうなお金を必要とするようになり、給料水準はどんどん高騰し、最終的には、日本人の仕事は、日本人よりも安い、ロボットや外国人のものになりました。失業率は増加し、少子化も歯止めがききません。

このような状態は、「どーせ無理だ」という、可能性を奪う言葉から生じたのだと思います。だから、僕は、「どーせ無理」を日本から無くすることにしましたのです。僕は「どーせ無理」ではなく「だったらこうしてみたら？」という言葉を使う人を増やしたいのです。